

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	ネイスぷらす柏校		
○保護者評価実施期間	2025年12月10日		2025年12月27日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	11	(回答者数) 3
○従業員評価実施期間	2025年12月10日		2025年12月27日
○従業員評価有効回答数	(対象者数)	3	(回答者数) 3
○事業者向け自己評価表作成日	2026年1月22日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	職員間での情報共有が円滑	毎日の朝礼、終礼でお子様の様子や支援方針を話し合う時間を設けています。 お子様の成長段階に沿って審議を重ね、支援計画のみではなく最大限できる支援を都度考え、実施しています。	保護者様と情報共有ができる機会を増やし、ニーズに沿ってより一層、支援方針を明確にできるよう精進いたします。

2	体操プログラムが豊富	<p>週ごとにメインの内容を『跳び箱』『鉄棒』『マット』の3種でローテーションし、内容が被らないように意識しています。</p> <p>自社開発のネイスプロダクツの製品などを用いて、安全に配慮したうえでバランスや動作の静動、動きの大きさや強さの調整に働きかけています。</p>	<p>より課題や成長を感じられるように数値化できるアセスメントツールを活用することを検討しております。</p>
---	------------	---	---

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	教室の活用方法	<p>大きな部屋と職員室、相談室の3つに分かれており、安全を配慮しお子様には大きな部屋のみ利用をお願いしています。</p> <p>個別の対応を要するタイミングで、他の部屋を使えないことがあるため、他のお子様にも影響がある可能性があります。</p>	<p>大きな部屋をマットで区切り、個別で落ち着ける環境を作っています。</p> <p>以前取り上げた教室の死角についてはゲートで埋め、物置にすることで職員の目の届く範囲で過ごせるようにしています。</p>

2	支援の一貫性	現在他事業所との連携ができていない状況です。 保護者様への許可、訪問可能な日時の調整に時間を要していました。	他事業所との連携ができるよう、関係構築から始めていきます。 支援するうえで一貫性を持つ体制を整えられるよう、情報共有をしていきます。
---	--------	---	---

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		ネイスぷらす柏校		公表日		2026年 2月 9日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	2	1	角にガードを設置するなど日常で怪我が起こりうる箇所を保護しています。 蛍光灯の箇所があるため、ボール遊びなどで当たる可能性があるため危険です。 お子様の人数に対して広すぎる場合はマットで遮って視覚的に狭くしています。	蛍光灯の箇所がボール遊びなどでLEDの下でボール遊びをしてもらえるように場所を区切っています。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	1	2	お子様の状態や人数により内容を考えて怪我を予防しながら活動しています。	職員数が増えれば、出来るサーキットや回数が増えるのではないかと考えています。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	2	1	教室内は角にはマットをし、衝突時の怪我を防止できると考えます。	トイレまでの導線が危険です。 トイレの入り口の段差が高く幼児にはつまづきやすいですし、冬は寒い・夏は暑い、環境が悪いため、お子様1人に職員が1名付き添う形で怪我を防いでいます。 2階に上がる階段が手すりがないため、バリアフリーの観点では不十分である。保護者様にお話し、手つなぎでの階段昇降を推奨しています。	

	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	0	3	毎日消毒を行い清潔な環境を保つよう努めています。 死角が多いため見える位置取りを意識して活動しています。 空間を区切ることが出来るので遊びに応じて分けることができます。	フィルター掃除は定期的に行って清潔な環境を保てるよう意識しています。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	3	0	個別で対応する時には教室内にマットで遮り、その中でお話をしています。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	3	0		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	3	0		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	3	0	都度意見交換ができています。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	3	0		社内社外の監査チームによる定期的な評価等を行い、業務改善に努めております。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	3	0		
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	3	0		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	3	0		
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	3	0		
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	3	0		

適切な支援の提供	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	3	0		
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	3	0		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	3	0	週ごとに立案し、必要があれば改善をしています。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	3	0	週ごとに立案し、固定化しないよう心がけています。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	3	0		
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	3	0		
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	3	0		
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	3	0		
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	3	0		
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせさせて支援を行っているか。	3	0		
25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	3	0			
	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	1	2		今後積極的に参加したいです。
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	2	1		今後積極的に参加したいです。

関係機関や保護者との連携	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	1	2		今後積極的に参加したいです。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	1	2		今後積極的に参加したいです。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	1	2		今後検討していきます。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	1	2		今後積極的に参加したいです。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	0	3		保護者から様々な意見をいただいているため、必要性を含めて検討していきます。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	1	2		今後積極的に参加したいです。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	3	0	来所時に保護者様と情報共有をし、支援につなげられるよう心掛けています。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	3	0	今後強化していきます。	
保護者	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	3	0		
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	3	0		
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	3	0		
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	3	0	保護者様からの発信があれば対応させていただいておりますが、発信が無くてもこちらから声を掛けるようにします。	

への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	1	2		開催に向けて前向きに検討していきます。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	3	0		
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	3	0		
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	3	0		
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	3	0		
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	3	0		
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	3	0	実施はしていますが、まだそれを知らない保護者様がいらっしゃるため、HUGの活動記録のほかに教室内に提示できたらいいと考えます。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	3	0		
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	3	0		
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	3	0		
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	3	0		
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	3	0		
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	3	0		
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	3	0		

	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	3	0		
--	----	--	---	---	--	--